

「私たちは労働者」という意識

「労働者とは：」再度考えましょう

若い力」を発行してきた中で、**自分達は労働者である**という事を意識する事が重要だと書いてきました、普段から意識していますか？ 私たちは、生活していく為、家族の教育や余暇を充実させる為にお金が必要です。そのお金を得る為に会社で働き賃金を得ています。会社に労働力を売って賃金を得ているという事です。JR九州に入社する時に会社と雇用契約を結びますが、24時間を会社の為に費やす契約は結んでいません。働く時間と賃金等について会社と契約した訳ですから、それ以外の時間は自分の為に自由に使える時間です。しかし職場では自分の時間にも関わらず、JRKや業研などで呼び出される事が多くあるのではないのでしょうか？ 協力しない社員が悪いというような風潮が職場の中にありませんか？ 出来ない事は出来ない」 休日は趣味に使いたい」等、あたりまえの事が当たり前に出して言えていますか？ 国労は労働者として当然の権利や職場で出せない声を明らかにして職場から改善していく声をあげていきます。

バランスが大事じゃないですか？

良い仕事をする為には、良い休日を通ぐすことが重要ではないでしょうか？ 家族で過ごす時間や旅行、趣味に費やす時間が充実しているほどに、労働意欲も湧き良い仕事が出来ると考えています。しかし先ほど触れましたが現実には程遠いのではないのでしょうか？ 賃金をもらっても**自由に使えるお金がない**とよく聞きます。食べて行くだけの賃金では不十分です。賃金とは家族の生活や、教育資金なども含めて十分でなければなりません。ましてJR九州ではお中元やお歳暮ノルマなどで、若い社員ほど自分の使えるお金は少なくなっています。毎日、毎日仕事や会社のことを考えさせられていますか？ 365日列車運行しているJRだからこそ、バランスよく休暇と仕事をしていく事が大事です。今のままで定年まで健康に安心して働き続けられますか・・・

順番に1週間ぐらい休みがほしいよね・・・



GWや正月に休ませろとはいわないけど・・・



若い力

第 31 号
2015年 8月 15日
発責 国労九州本部

博多区博多駅東3丁目9番3号
ニッコーハイツ1003号
JR 092-2075
NTT092-483-1515